

2022年 10月 1日

発行 黒石すばるの会
<http://subaru9614.dip.jp>

10月の星空情報

東の星空

秋の代表的な星座ペガサスの四辺形の左にアンドロメダ座があり、そのほぼ中央に、有名な大星雲M 31 (アンドロメダ星雲)があります。肉眼や小型の望遠鏡ではボーっとしか見えないのですが、実際は、約2千億個もの星の集まりで、地球や太陽などが含まれている銀河系の外にある別の銀河系だということが分かっています。

また、うお座には-2.9等の大変明かい木星がありますし、おうし座には1か月の間に-0.6等から-1.0等くらいまで明るさが変わる火星がいて、どちらも今月は星座の間をあまり動きません。

さらに、おうし座の青白い星が集ったプレアデス星団と赤味がかった1等星アルデバランを含むヒアデス星団が目立つようになります。

西の星空

夏の高い空にいたときは向きや明るさが変わった夏の大三角のここと座のベガ、わし座のアルタイル、それに、はくちょう座のデネブなどが、まだ高い西空でがんばっています。

一方、夏の間、ずっと南の空で目だっていた大きなヘルクレス座や、へびをつかんだへびつかい座、天の川の中を流れているいて座などが当分の間の別れを告げようとしています。

月はじめは 21時ころ
10日前後は 20時20分ころ
20日前後は 19時40分ころ
月まつは 19時ころ

